

おくじ

- 2 9月定例会概要・議案審議質疑
- 4 一般質問
- 10 決算特別委員会
- 14 常任委員会等の活動報告ほか
- 15 請願・陳情審査・意見書
- 16 ちよつと一言、議会の動きほか

はなまき市議会だよ!!

# 花の風

第85号

令和7年11月1日





## 議案審議

**可決** 令和7年度一般会計補正予算(第5号)

総額 13 億 8,665 万円を追加。介護職員宿舎整備補助、職業人材育成事業、保育所 ICT 化支援、新型コロナワクチン接種、道路改修、民間宅地開発支援事業補助、給食センター改修設計など、市民生活に直結する事業を幅広く盛り込んだ。

## 質 疑

- 質問…介護職員宿舎の補助の財源や規模は。  
答弁…国庫の基金を活用し、1 法人 1 棟・定員 8 名の宿舎を建設し家賃も低廉に設定する。
- 質問…職業人材育成事業の補正理由は。  
答弁…昨年度の実施が好評で、学校・企業双方から継続の要望があり実施する。
- 質問…保育所 ICT 化の対象園数と負担割合は。  
答弁…8 園を対象に国 2 分の 1、市 4 分の 1 補助で導入する。
- 質問…新型コロナワクチン委託料の根拠は。  
答弁…国が示した単価を基に算定し、自己負担分を除いた額を補助する。
- 質問…宅地開発支援補助金の概要は。  
答弁…居住誘導区域等での宅地開発に 1 区画 200 ～ 300 万円補助し、今回は 2 件が対象となる。



保育所で登降園管理に活用している  
タブレット端末

## 令和7年第2回臨時会

令和7年第2回臨時会は8月1日に開かれました。この臨時会では、令和7年度花巻市一般会計補正予算(第3号)について審議し、原案のとおり可決しました。

審議した議案	内 容	審議結果
令和7年度花巻市一般会計補正予算(第3号)	物価高騰への対応等に係る歳入歳出予算の補正 * 補正額: 1 億 7,648 万 9 千円増額 * 補正後予算額: 591 億 9,855 万 3 千円	可 決

## 【表紙写真について】

タイトル Forever hasegake

メッセージ 生活のすべての基盤が稲作で、手間暇かけて米を作り、大切に食べていました。  
むかしよく見た花巻の原風景。

## 9月定例会 提出された18議案を可決

令和7年第3回花巻市議会定例会は9月5日開会、10月1日まで27日間の日程で開かれました。9月8日、9日、11日、16日には一般質問に17人が登壇し、市政課題について質問しました。

9月17日には議案審議が行われ、令和7年度花巻市一般会計補正予算の専決処分に関し承認を求めることについてなど提出された8議案を原案のとおり可決したほか、8件の報告と人権擁護委員の選任について審議し、原案のとおり適任としました。

最終日の10月1日には、花巻市文化会館受変電設備及び照明改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど2議案と報告1件が追加提案され原案のとおり可決しました。

また、委員長報告では、総務常任委員会、文教福祉常任委員会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会が審査した請願・陳情のうち、文教福祉常任委員会が審査した請願1件が採択のうえ意見書を発議し、その他陳情3件は不採択となりました。花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会からは、調査を終了する旨の報告がありました。

また、9月24日から26日には決算特別委員会が開かれ、10月1日の本会議で全議案を認定しました(審査内容は10月12ページに掲載しています)。

主な可決議案や質疑は次のとおりです。

**承認** 令和7年度一般会計補正予算(第4号)

審議の様子はこちら

県立大迫高等学校の生徒確保対策として、令和8年度の入学生確保に向けて、大学進学者に対する通塾等の費用補助と、進学支援コーディネーターによるサポート強化に対する補助を実施するため専決処分(※)が行われ、311万5千円が計上された。

## 質 疑

- 質問…具体的な支援内容は何か。  
答弁…大学進学に必要な塾・オンライン講座費用の補助や、進学支援コーディネーター2名が相談や学習支援など、一緒に進学について伴走して支援を行う。
- 質問…補助率や上限はどうか。  
答弁…費用の全額を補助するが、上限は60万円とする。
- 質問…専決処分とした理由は。  
答弁…夏休み明け直後の中学校等へのPRや8月に東京で実施した地域みらい留学の対面説明会に間に合わせるため。結果として前回17組だった参加者が40組に増える効果があった。



大迫高等学校

※専決処分：本来、地方公共団体の議会が議決または決定しなければならない事項を、特定の場合に、その地方公共団体の長が代わって処理すること。

一般質問

9月定例会では、17人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和7年第3回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）	
照井 省三 議員 （社民クラブ）	①いわて花巻空港を特定利用空港の対象とすることについて ②最低賃金改定に伴う対応について
久保田彰孝 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①中小企業支援について ②鳥獣被害について
佐藤 峰樹 議員 （明 和 会）	①第3期県立高等学校再編計画について ②学校運営協議会について ③矢沢中学校周辺の道路環境整備について
本館 憲一 議員 （はなまき市民クラブ）	①水田農業政策について
伊藤 盛幸 議員 （緑 の 風）	①道路の損傷通報について ②教育委員会の職務権限について
若柳 良明 議員 （社民クラブ）	①農業について ②鳥獣被害状況について ③コミュニティ会議の活動について ④衛生委員会について
照井 明子 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①医療的ケアが必要な人の災害対策について ②行政文書の情報開示について
伊藤 忠宏 議員 （明 和 会）	①道路周辺及び河川の樹木について ②高齢者の自動車運転について ③道路の除雪について
羽山るみ子 議員 （はなまき市民クラブ）	①新花巻図書館整備について ②クマ対策について
鹿討 康弘 議員 （緑 の 風）	①観光政策について ②J R花巻駅橋上化及び新花巻図書館整備について
阿部 一男 議員 （社民クラブ）	①農業問題について ②有機農業について ③米の直播栽培について
櫻井 肇 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について ②マイナ保険証について ③県立大迫高等学校の存続について
小原 保信 議員 （明 和 会）	①農業振興について ②廃校舎の利活用について ③防災道の駅について
小森田郁也 議員 （緑 の 風）	①（仮称）花巻市こども計画について ②小中学校の教室を避難所として活用することについて ③災害用トイレカーについて
似内 一弘 議員 （緑 の 風）	①公共空間の活用について ②宮沢賢治童話村整備事業について
佐々木精市 議員 （会派に所属しない）	①米の生産について ②林業振興について
菅原ゆかり 議員 （会派に所属しない）	①投票しやすい環境づくりについて ②農作物の洪水対策について ③子育てしやすい環境づくりについて

■花巻空港を特定利用空港  
対象とすることについて



照井 しょうぞう 議員

特定利用空港は、自衛隊や海上保安庁が平時から空港を円滑に利用するもの。軍事利用の懸念もあり、対象とすべきではない。

国が花巻空港を特定利用空港に指定しようとする。市に対して意見を伺う意向であると認識している。県が市の意向を無視して同意することはないと考えている。県から市の意向について問い合わせがあった場合、市民の安全を守ることが最重要であることから、その観点から対応するよう考えている。

■地域包括最低賃金の改定について



市として、市内の小・零細事業者への最低賃金引上げ改定の周知と事業者への支援策について伺う。

市のホームページや広報はなまきのほか、市内事業者を対象としたメールマガジン等を活用して周知する。県の「物価高騰対策賃上げ支援金」の活用推進。また、賃上げ原資を確保のため、企業の生産性向上を図る取り組みに対し支援を行う。賃上げの直接的支援に限らず、事業者への支援の在り方を検討する。

■中小企業支援について



久保田 くにたけ 議員

県は、中小企業者へ物価高騰対策賃上げ支援金を交付している。市は県と連携して、賃上げ支援に取り組むべきではないか。

一般的に大企業に比べて財政基盤の弱い中小企業においては、原材料や燃料費、労務費などの価格高騰による経営への影響を受けやすい。市としては、補助金といった一時的な支援よりも、適正な価格転嫁や生産性の向上などによる収益の増加により賃上げの原資を確保できるような、根本的

■イノシシの被害対策について



イノシシは北幹線水路に架かる橋を往来しているのではないかと推測されている。往來できないように柵を設けられないかについて伺う。

■高校再編について

第3期県立高等学校再編計画当初案をどのように評価し、具体的な案が示された各高校に対して市としての将来ビジョンを描いているのか伺う。


■学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

制度導入後の成果と課題の認識。今後どのように発展させていく考えであるのか伺う。

■国の米の増産政策転換について

米の増産の実現は容易ではなく、価格の安定が見通せない。国の米の増産政策転換に対して市の見解を伺う。

■現状の米の生産費用について



担い手不足は、生産費を賄えない生産者の手取りが続いたことが大きな原因と考える。現状の米の生産費用を伺う。

国が令和6年10月30日に公表した東北の令和5年度産の米生産費は、作付規模が1ha以上3ha未満の農家では10a当たり13万4099円となっている。内訳は10a当たりで肥料費1万2090円、薬剤費7996円、農機具費2万3396円、労働費3万2855円である。肥料や資材等の価格が高止まりして農業者の経営を圧迫する状況である。

■佐藤 峰樹 議員



基本的には、将来を見据えた国内需給状況を国が的確に把握し、在庫の状況の見通しを立て、それを基にした県から示される生産目標の作付けになるようにすること。これを生産者にお願するという。今までの形を維持することが、今後においても米の価格安定に非常に大切であると認識している。

一般質問



伊藤 盛幸 議員

■道路の損傷通報について

市は公式ラインにスマホから道路損傷箇所を通報してもらう仕組みがあり、議会報告会に参加した高校生からも市政に貢献できる場になると評価があった。さらに、より多くの生徒に知ってもらうようにすべきとの提言もあり、対応を伺う。

Q

市内各高校へポスターの掲示やチラシ配布などを行い、知ってもらうという提案はたいへんありがたい。あわせて、歩行中や自転車運転中のスマホ使用に対する注意喚起も行つてまいりたい。

A

■教育委員会の職務権限について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に「市長は歳入歳出予算のうち教育委員会に係る議案を作成する場合は教育委員会の意見を聴かなければならない」と規定されている。これまでの進め方はこれに反していないか伺う。

Q

教育委員会に係る当初予算は事前に教育委員会協議で説明しているが、補正予算は事後に説明することとしている。5月19日の教育委員会協議定例会後に担当部署から説明を受けたが、予算について特に異論はなかったものである。

A



■鳥獣の被害対策について

Q

鳥獣被害対策による捕獲方法と実績について伺う。

A

捕獲実績については、令和6年度は、ニホンジカ1898頭、イノシシ107頭、ハクビシン71頭、ツキノワグマ34頭、令和7年度は8月24日現在、ニホンジカ933頭、イノシシ45頭、ハクビシン70頭、ツキノワグマ33頭となっている。捕獲方法としては、設置した罾が自動的に作動するなど人手をかけずに捕獲が可能な罾罠が中心である。



若柳 良明 議員

■コミュニティ会議の職員の賃金について

Q

会計年度任用職員の給与が引き上げになった場合、コミュニティ会議職員の賃金も引き上げるべきと考えられているか。

A

指定管理料のうち人件費についても業務の実情に鑑み雇用条件が悪化することがないよう配慮している。最低賃金の改定や社会経済情勢の変化に対応するため5年間の指定管理期間にとらわれず人件費相当額の変更が必要であると判断した場合は、指定管理料の見直しについて適宜対応する。



照井 明子 議員

■医療的ケアが必要な人の災害対策について

Q

在宅の医療的ケア児者の人数及びそのうち個別避難計画を作成している人数・割合を伺う。

A

国では「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」を令和8年9月18日より施行している。市では、18歳以下の医療的ケア児のみを把握しており、本年8月末時点で21名であり、個別避難計画作成済みの人数は4名で、その割合は19%である。研修会を通じ、今後個別避難計画の作成を進めていく。

■行政文書の情報開示について

Q

新花巻図書館整備基本計画に係る情報について全面開示を求める所見を伺う。

A

新花巻図書館整備基本・実施設計業務プロポーザルに係る情報公開について、第1回プロポーザル選定委員会の評価基準の設定等に係る意見交換内容について公開することは、外部からの圧力や干渉等の影響を受けることなど、委員の率直な意見交換・意思決定の中立性が損なわれることが懸念され非公開とした。



伊藤 忠宏 議員

■道路周辺及び河川の樹木について

落雷や大雨による倒木や枝折により、災害発生が考えられる箇所が存在するが、対策について伺う。

Q

市では危険性を確認した場合、原則として所有者に伐採依頼をするなど、道路通行上の安全に努めている。市管理河川だけでなく、国や県の管理河川でも適切な樹木伐採や河道掘削を要望し、災害対応能力を高めている。

A

■高齢者の自動車運転について

生活環境の不便さを理由に免許返納を躊躇している高齢者を対象とした安全運転に関する支援について伺う。

Q

高齢者の事故原因は、操作不適と安全不確認が多く、不安に思う人には運転免許証の自主返納をすすめている。現時点において、後付安全装置の補助は検討していない。市において、無料の出前講座として交通安全教室を実施している。まずは、出前講座の活用を検討いただきたい。

A



■新図書館整備について

建設用地についてJR東日本との交渉の進捗状況、取得費用とその取得に係る予算案の提出時期について、またJR東日本との仮契約のようなものはあるか伺う。

Q

取得予定地の境界が確定した後、土地評価を行い買取価格について協議する。現在示されている1億3000万円という金額は市側が提示した金額でありJR側の土地評価はこれからである。土地取得に必要な予算は令和9年度当初予算に計上とはならない。

A



羽山 み子 議員

■未取得の状況で基本・実施設計業務委託業者を公募することの適法性、土地を取得できなかった場合の公募プロポーザル方式の取り扱いについて伺う。

Q

令和12年度の完成を目指すため、現時点から設計業務を行う必要があり、土地の所有権がなくともこれを対象とした設計を実施することは違法ではない。仮に土地の売買について議会が否決しても公募プロポーザル方式そのものが無効になることはない。

A

宮沢賢治イーハトーブ館の売店等は宮沢賢治学会が運営しており、端末費用や手数料負担への懸念からキャッシュレス導入が進んでいなかった。しかし利便性向上を重視し、令和8年度から導入の方向で検討中である。市としても観光客の利便性向上に資するよう、関係団体と協力し確実な実現を目指す考えである。



鹿討 康弘 議員

■観光客の利便性を損なう現金決済の市対応について

Q

宮沢賢治イーハトーブ館の物販やカフェは現金のみ。3月定例会でも電子決済の導入を指摘したが未対応のままで不便の声がある。

A

■JR花巻駅橋上化と新図書館整備について

JR花巻駅橋上化と新図書館整備で、駅自由通路と図書館の接続は、商業施設併設がなくとも費用も大きい計画に含めていない。橋上化は国補助を活用しJRが整備し、通路は市が管理する。新図書館はJR用地を取得し令和9年度に予算計上予定。今から接続計画を見直せば設計のやり直しとなり、合併特例債の期限に到底間に合わず、計画全体を白紙に戻すことは現実的でない。

A







あらい かずお 議員

■米の概算金について

Q 今年の米概算金は昨年同様引上げとなり、ひとめぼれ60kg 3万1000円、あきたこまち3万5000円となった。米価高騰や労働力不足で今後も再生産できるか懸念される。どう分析しているか。

A 今後米価が下がったとどうするか。米価が2、3年後にどうなるか懸念される。国は、米不足のため増産するというのが、米余りとなった時が心配される。備蓄米を増やし必要時に放出することが必要である。放出することで価格を安定させるように注視をしていく。



オオガニック農作物の学校給食等への導入について

Q

市は学校給食への導入を検討している。有機作物は化学肥料や農薬を使用しない食材を活用することから児童生徒の健やかな心身を育む。環境教育の観点からも意義がある。進捗状況を伺う。

A

一定の有機米収量があることから、有機農業推進協議会と協議し、慣行米との価格差を市が負担し、学校給食に提供いただくことで準備を進めている。今回提供する学校は、大迫小、大迫中、東和小、東和中の4校。12月4日から5日にそれぞれ1回、合計685食を予定している。

■こども誰でも通園制度について

Q

来年4月からの「こども誰でも通園制度」について疑問や課題があるが、実施までのスケジュール等、課題を伺う。

A

本制度は、生後6か月から満3歳未満の保育園などに入園していない子供を対象とし、月一定時間までの可能枠の中で保育などを柔軟にできる新たな通園制度である。今年の12月定例会に条例案を提案する。8月1日からパブリックコメントを実施し、意見の内容を検討している。来年3月に事業を実施する事業所の認可を行う。



さくらい はじめ 議員

■マイナ保険証の有効期限切れについて

Q

マイナカード健康保険証利用登録者が、有効期限切れへの対処ができず、無保険者となる事態が生じることがないか伺う。

A

有効期限の3か月前から更新手続きできるが期限の2、3か月前を目途に「有効期限通知書」が送付されるほか、更新手続きを行わず有効期限が経過した後も3か月間は、引き続きマイナ保険証として利用することが可能である。保険者である市も、更新手続きが行われない場合、資格確認書を交付し、従前どおり医療機関等を利用できる。



おばやし やしんぶ 議員

■廃校校舎の企業等への利活用について

Q

市と民間事業者とが連携し、企業が廃校校舎を活用し、オフィスや地元特産品の加工工場など企業等への利活用について伺う。

A

本市の場合には、様々な事業を行っている民間事業者があり、その中で廃校校舎の利活用に興味を示す事業者がいる場合には、その支援について検討する可能性はある。



■防災道の駅の認定及び登録の申請について

Q

能登半島地震において防災道の駅が大きな役割を果たしたことを踏まえ、東北、岩手県のため認定及び登録の申請をする考えはないか伺う。

A

釜石道のインターチェンジから近い立地を活かし、道の駅と連携して防災道の駅として整備することが望ましいという結論になった場合、市の財政的な負担や地域振興への寄与などのメリットがどうなるのかを勘案のうえ、防災道の駅としての選定に向けて国及び県に対し要望したい。



こもり たかひろ 議員

■(仮称)花巻市こども計画策定の進捗状況について伺う。

Q

(仮称)花巻市こども計画策定の進捗状況について伺う。

A

現在、市は県や近隣自治体のこども計画の調査研究を進めており、今後は10月中旬に策定支援の事業者の選定、12月に市内の小中学生・中学生やその保護者、高校生年代から30代までの市民を対象としたアンケート調査を実施する予定である。この回答結果を踏まえ、来年度はワークショップを開催し子どもの意見聴取を行った上で令和8年度に計画



■避難所の環境改善について

Q

エアコンが整備されている教室・特別教室を避難所として活用する考えについて伺う。

A

現在、市内で避難所に指定されている小中学校では避難者を体育館で受け入れることを想定しているが、近年の気温上昇により体育館の利用は難しい状況にある。今後、小中学校の長期休暇期間で暑さ対策が必要である場合は、状況をみながらエアコン等が整備済みの普通教室や特別教室が活用できるよう準備を行っていききたい。

■街なかにおける官民連携事業について

Q

公共空間活用における官民連携事業の必要性について伺う。

A

JR花巻駅橋上化、新花巻図書館整備をはじめ民間活力を導入するためのハード整備を行うとともにリノベーションした結果、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域域内において飲食店など出店が増えている現状にある。JR花巻駅前から上町に至る街なかのエリアをマネジメントする民間の担い手がいれば都市再生法人として指定することも含め、エリアの活性化について市



いぬい かずまさ 議員



■宮沢賢治童話村の整備方針について伺う。

Q

童話村は全体の老朽化が進んでいる状況にある。今後、改修を進めていくが、改修に当たっては国の交付金を活用しながら市の財政状況や今後の見通しも踏まえ、財政規模に見合った事業費、持続可能な施設運営を前提とし、市民や知見のある専門家からも意見を伺いながら、今後も賢治童話の世界を皆様に楽しんでもらうにはどのような整備をするべきか検討を進めていく。

A

■米の生産について

Q

米生産に対する国の方針への見解と、生産者への支援策について伺う。

A

国は米の安定供給等実現関係閣僚会議において、将来にわたって生産者が意欲をもって持続的、安定的に米を生産し消費者の手に取りやすい価格で供給することを目指している。市においても、新規就農者に対する相談窓口を設けたりスマート農業技術の活用等、農業振興の支援を続けて参りたい。



ささき たけまさ 議員

■林業の振興について

Q

主伐後の再造林が進んでいない状況にあり、現在の林業における支援内容について伺う。

A

市では森林環境譲与税を財源として、国または県の補助金に上乗せして、再造林、下草刈り、樹種転換、除伐、保育間伐、作業道について事業費の90%まで補助をしている。再造林が進まない状況であることは認識しており、全額補助することにより、再造林が進むのであれば検討する必要があると思われる。



## 決算特別委員会

1663万7千円

### 結婚新生活等支援事業

- Q 岩手県で実施しているi- サポ岩手結婚サポートセンターにおける花巻市民の利用実績と成果を伺う。
- A 会員数は令和6年度県全体で950人であり、成婚された方は25組である。市単位での人数の公表は控えてほしいとの回答をいただいているが、当市登録者数における成婚の割合は9.1%である。

104万3千円

### 自主防災組織支援事業

- Q 昨年度の県総合防災訓練には、自主防災組織や消防団等も参加したが、どのような課題があったか伺う。
- A コミュニティセンターや振興センター等での避難訓練や、福祉施設等の避難訓練・ペット避難訓練を実施したが、障がい者組織の方との横の連携が課題であったため、普段から連絡をとり、連携を深めていく必要がある。

57万8千円

### 介護人材確保事業

- Q 介護人材の不足がいわれているが、介護の仕事や魅力を紹介するセミナーを開催しての成果を伺う。
- A 小中高生を対象としたセミナーや奨学金の返還支援、介護職員の家賃補助事業を行っており、令和6年度は中学校3校、高校2校で生徒256人が受講、好評をいただいている。介護人材の確保に早急に繋がるというわけではないが、人材を育てていくことに意味がある事業である。

584万円

### 職業人材育成・確保対策事業

- Q 市内企業の人材確保促進に向けた各種取り組みをしているが、この成果と課題について伺う。
- A 昨年度のセミナーは中途採用、高卒の採用、魅力発信、人材定着の観点から実施した。セミナー終了後、フォローアップとして講師と企業がオンラインで相談できるようにしたことから満足して頂いたと考える。

4億7570万8千円

### 感染症予防対策事業

- Q 令和6年7月1日から始めた50歳以上の带状疱疹ワクチンの接種状況を伺う。
- A 令和6年度で50歳以上の市民を対象に一生に1回助成するもので、生ワクチンの場合は4000円を1回、不活化ワクチンの場合は1万円を2回まで助成するものであり、対象者5万1168人のうち接種者は5719人、接種率は11.2%である。

258万8千円

### 水産多面的機能発揮対策事業

- Q 淡水漁業推進事業補助金について、どのような種類の稚魚が、どの程度放流されたのか。またカワウやサギなど鳥類に捕食される場合やダムでの放流による稚魚の減少があるか伺う。
- A 3漁業組合に鮎、ヤマメ、イワナの3種類で、合計2040kgに対して支援した。稚魚の減少について、そのような声は届いていない。

## 一般質問

■視覚障がい者の方の投票支援について



みやざわ ゆみか 議員

Q 弱視の方に配慮した投票補助具の導入について伺う。

A 一部の自治体では、投票用紙に自筆する枠がわかりやすくなるよう、記入する枠が切り抜かれたプラスチック投票用紙記入補助具が導入されている。弱視の方や視覚障がいの方が候補者名を正確に記入できるよう、負担軽減の効果が期待されるものである。視覚障がい者の方々の投票をサポートする観点からまずは、期日前投票所へ補助具を配置する。

■子育て支援について



Q

授乳室での搾乳マークの導入について伺う。

A

授乳室において搾乳する場合、赤ちゃんを連れないと場合によっては不審がられることもあり、利用しにくい方もいる。神奈川県ではNPO法人と連携しながら「搾乳マーク」を作成しており、ホームページではその趣旨に沿った目的であれば自由に使用できることとしていることから、本市でも公共施設にある授乳室に表示することについて取り組んでいく。

## 決算特別委員会

## 令和6年度各会計決算を認定

1億530万6千円

### 振興センター等整備事業

- Q 振興センターの老朽化による大規模改修・整備やトイレの改修工事が行われているが、全体でどの程度の改修工事が終了しているのか伺う。
- A 全体的には大規模な修繕は一旦終了したと考えているため、今後必要に応じて小規模な修繕がある場合は取り組んでいく。

審議の様子はこちら



9月26日



9月25日



9月24日



笹間振興センター



## 議会報告会「議員と話そう」にご参加いただきありがとうございました

8月5日(火)～8日(金)の4日間、市内14会場で議会報告会「議員と話そう」を開催しました。猛暑の中、述べ156名の市民の皆さまにご参加いただき、初の試みであるワークショップによる意見交換を行いました。共通テーマを「住み続けたいと思える花巻にするには」として、市民の皆さまから様々な課題や貴重なご意見をたくさんいただくことができました。

開催前はいつもと違うやり方に議員も緊張していましたが、市民の皆さまと同じテーブルで意見を交わすうちに緊張もほぐれ、終始和やかな雰囲気で4日間を終えることができました。参加いただいた市民の皆さまからも「和気あいあいとしていて話しやすかった」「議員と話せる機会を得られてよかった」「課題に対して色々な考えが出てきて楽しかった」等、多くのお声をいただきました。

いただいたご意見を、今後の議会活動・議員活動に生かしていけるよう努めてまいります。



★市議会ホームページでは全会場のワークショップの様子やいただいたご意見を掲載しています。ぜひご覧ください。

## 花巻市議会議員報酬に関する市民説明会及びアンケート調査を実施しました

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会では、市民の意見を参考とするため、市民説明会及びアンケート調査を実施しました。

### ◇市民説明会◇

特別委員会で検討した経過及び結果について報告し、ご意見をいただく説明会を7月9日(水)、10日(木)、13日(日)に市内5会場で開催しました。猛暑の中、延べ26名の皆さまに参加いただきました。

説明会では、委員会の案としてA案(10万円増額)とB案(7万4千円増額)を提示し、参加された皆さまから様々なご意見をいただきました。



### ◇アンケート調査◇

特別委員会ではより多くの市民の意見を伺うため、市民説明会でのアンケートの後、追加でインターネットや議会モニターへのアンケート調査を8月5日(火)から24日(日)まで実施し、延べ90名の皆さまから回答いただきました。

《アンケート結果(一部抜粋)》

Q:議員報酬で妥当と思われるのは? (全体合計)

A案(10万円増額) 24人

B案(7万4千円増額) 17人

現状維持 25人

その他 24人



★いただいたご意見等は、市議会ホームページに掲載しております。

1億1520万3千円

### J R花巻駅東西自由通路等整備事業

Q 整備事業費のうち、JR花巻駅東西自由通路整備基本設計負担金6678万2416円、実施設計負担金17万3600円が令和6年度の花巻市の負担金であるが、JRの負担分を伺う。

A 基本設計におけるJR負担金は26万3928円、実施設計においては1200万円であり、JR東日本の事業である駅構内の跨線橋の撤去の設計費用の部分が基本設計、実施設計に含まれている。

2700万4千円

### 中学校外国語教育推進事業

Q 各中学校に派遣されている外国語指導助手(ALT)4人はどういった方か。また、英語検定料助成について伺う。

A ALTは英語を母国語とした方で、派遣会社を通じて各学校へ派遣されている。また、英語検定料助成では、実際に身につけた英語力を図る意味で、英語検定の受験料を1人1回の制限のもとと支援している。

## 討論

### 【反対】照井明子 委員 議案第72号、73号、74号

(議案72) J R花巻駅東西自由通路整備事業および新花巻図書館整備事業の情報開示資料は、黒塗りが多く不透明である。また、こども医療費の受給者負担廃止に背を向ける市政であったため反対する。

(議案73) 低所得の加入者が多い国民健康保険税は重い負担である。国民健康保険財政調整基金を活用し、国民健康保険税の引下げは可能であった。また、こども均等割は廃止すべきであったため反対する。

(議案74) 国の改正により、年収153万円以上の方の令和6年度からの保険料が引き上げられた。制度そのものに対して反対する。

## 賛否が分かれた議案の審議結果

議案 72	令和6年度花巻市一般会計歳入歳出決算の認定について
議案 73	令和6年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案 74	令和6年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
陳情 3	生涯学習・社会教育行政の所管体制の是正と補助執行の適正化を求めることについて

会派名		明和会					はなまき市民クラブ			緑の風		社民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果									
議員名		及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山みづ子	佐藤現	内館桂	本館恵一	小森田郁也	鹿討康弘	似内弘一	伊藤盛幸		照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 72		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	認定	
議案 73		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	認定
議案 74		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	認定
陳情 3		●	●	●	●	●	欠	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



審査において委員からは、「会議録やアン

◆第4号陳情（不採択）  
議員報酬引き上げに関する市民説明と意見聴取の徹底を求めることについて

審査において、委員からは「花巻市立図書館について厳格に適用範囲を定めてほしい」ということは賛同できる」との賛成意見や「適法であり、全国的にも補助執行制度が広がりつつある中で花巻市だけが教育委員会に戻す根拠にはならない」との反対意見が出されました。採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

◆第3号陳情（不採択）  
生涯学習・社会教育行政の所管体制の是正と補助執行制度の適正化を求めることについて

9月定例会では、総務常任委員会が第6号陳情、文教福祉常任委員会が第3号陳情および第5号請願、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会が第4号陳情の審査を行いました。審査の結果、第3号陳情、第4号陳情および第6号陳情は不採択、第5号請願は採択すべきものと決しました。

## 請願・陳情審査

審査において委員からは、「非核平和都市宣言は、恒久平和を願うものであり、これを実現するために、市民、あるいは全世界の人々が、心に抱き続けていくべきものである」「日本国憲法の三大原理の1つである、平和主義に基づいた宣言を、国民、市民として守るためにも、非核平和都市宣言は、取り下げるべきで

◆第6号陳情（不採択）  
非核平和都市宣言の取り下げを求めることについて

審査において、委員からは「次の学習指導要領の改訂のためには今声を上げるタイミングだ」と思うなどの意見が出されました。採決の結果、全会一致で採択となりました。

◆第5号請願（採択）  
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書提出を求めることについて

「議会は住民から直接選ばれた議員で構成される合議体であり、その意思は会議における議決の形で表されるもので、委員会として議員個々の賛否を表明することはない」などの意見が出されました。採決の結果、陳情は全会一致で不採択となりました。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています

- （一部省略）  
学習指導要領の改訂は、子供たちの豊かな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きく関わります。「カリキュラム・オーバーロード」（国の教育課程基準に基づき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になっていて、子供や教職員に過大な負担がかかっている状態）等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。
- つきましては、次の事項が実現されるよう、意見書を提出いたします。
- 子供たちの豊かな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

◆「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

## 意見書を提出

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、それぞれ委員長報告のとおり決しました。※請願・陳情全文は市ホームページに掲載しています。

## 常任委員会等の活動報告

### 総務常任委員会

- ◆9月18日（木）
  - \*第6号陳情「非核平和都市宣言の取り下げを求めることについて」
  - ▽審査結果・・・不採択
  - \*所管事務調査「投票率向上に向けた取組の進捗状況について」

### 産業建設常任委員会

- ◆8月1日（金）
  - \*協議「今後の方針について」
- ◆8月22日（金）
  - \*協議「今後の方針について」
- ◆9月19日（金）
  - \*所管事務調査「空き家問題の課題とその解決策について」
- ◆10月10日（金）
  - \*協議「政策提言について」

### 文教福祉常任委員会

- ◆8月28日（木）
  - \*協議「今後の活動方針について」
- ◆9月18日（木）
  - \*第3号陳情「生涯学習・社会教育行政の所管体制の是正と補助執行制度の適正化を求めることについて」
  - ▽審査結果・・・不採択
  - \*第5号請願「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書提出を求めることについて
  - ▽審査結果・・・採択

### 議会改革推進会議

- ◆8月1日（金）
  - \*協議「一般質問の一问一答方式について」
- ◆9月5日（金）
  - \*協議「一般質問の一问一答方式について」
- ◆9月29日（月）
  - \*協議「一般質問の一问一答方式について」

### 花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会委員長報告

○10月1日、令和5年12月に議員報酬等の調査検討のため設置した花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会で、審査を終了し、特別委員会の活動を終了する旨の報告を行いました。

※また、同日、議長から市長に報告書を手交のうえ報酬引上げの検討を要請しました。

本委員会は設置後、特別委員会を12回、小委員会を30回開催し、調査・検討を行いました。また、検討に当たり、先進地視察、議員活動実態調査・市民説明会・アンケート調査等を実施し、慎重に調査・検討を行っています。これらを踏まえ、議員報酬は、7万4千円増額とすること、改定時期は、令和8年4月とすることについて市当局に検討いただくよう要請することといたしました。

さらに、今後も定期的な実態調査を引き続き実施すべきであることを申し添えます。



※委員長報告全文はホームページに掲載しております。

### 産業建設常任委員会行政視察報告

- 実施日・・・6月30日から7月2日まで
- 大阪府門真市議会
  - テーマ「ウォークブルなまちづくりについて」
  - 人中心の空間を創出しエリアの価値向上を図る構想により、自転車と歩行者の共存設計、賑わいを生むまちづくり、地域主体が関わる運営体制を確認しました。官民連携によるエリアマネジメント構築など参考となる知見が得られました。
- 奈良県橿原市議会
  - テーマ「空き家対策事業について」
  - 市と専門団体が連携して相談者へ助言する「空家等対策プラットフォーム」や自治会長等と連携して通報、相談、調査を行う「空家コーディネーター制度」があり、本市における相談体制、地域連携の仕組みについて検討する参考となりました。

- 滋賀県彦根市議会
  - テーマ「彦根市空き家総合支援事業について」
  - 空き家となった建物を非営利団体等が滞在体験・創作活動・文化施設等へ改修する事業に対し改修費等の3分の2、最高1,000万円補助する「空き家対策総合支援事業」や空き家の発生抑制・解体推進などの様々な対策は大いに参考となりました。



門真市にて



きくち げん  
菊池 玄さん  
(花巻北高校2年)花巻市の未来へ  
ちょっと一言ふくやま ともりの  
福山 智則さん  
(石鳥谷町新堀)

## 伝統を守り、きれいな花巻市へ

湯のまち・詩のまち・花のまち花巻市は、多様な文化と伝統が息づく歴史ある場所です。四百年以上続く花巻まつりは多くの人に親しまれてきました。近年は海外からの観光客も増えていますが、ごみの散乱や分別されていないごみが目立つようになりました。歴史ある花巻市が、現代の私たちに

よって汚されている現状は看過できません。私は高校の総合的な探究の時間で、ごみを正しく捨ててもらう活動に取り組んでいます。呼びかけやボランティア活動を通じて、よりよい花巻市をつくりたいと考えています。歴史と伝統を守り、未来へつなげるため、一人ひとりが行動すべきだと考えます。

## がんばろう花巻

花巻で高校時代を過ごし育った菊池雄星、大谷翔平両選手、さらに、生まれ育った世界陸上出場者の石川周平さん、パリオリンピック自転車競技出場の中野慎詞さん、本屋大賞受賞作家の阿部曉子さんなど全国的に活躍される若者が輩出されています。世界にも誇れる地域になっています。今の子供達にもそれ以上の活躍

が期待できると思っています。私達が経験してきた以上の成果があげられるでしょう。そのために必要なのは育てる側の支援です。新しい取り組みを行うことや、失敗を恐れず挑戦する環境づくりなど花巻市にもっと広がることを願っています。全ての大人がそれを示せば実現はすぐです。がんばろう花巻。

## 議会の動き 8月～10月

- 8月1日 令和7年第2回臨時会  
花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会  
広報特別委員会、議会改革推進会議  
産業建設常任委員会
- 4日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 5日～8日 議会報告会(14会場)
- 22日 産業建設常任委員会
- 28日 文教福祉常任委員会
- 29日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 9月2日 議会運営委員会
- 3日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 5日～10月1日 令和7年第3回定例会
- 5日 議会運営委員会、広報特別委員会、議会改革推進会議  
花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会
- 10日 広聴特別委員会
- 16日 議員全員協議会、各派代表者会  
花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会  
花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会  
総務常任委員会、文教福祉常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会  
花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会
- 26日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 29日 広聴特別委員会、議会改革推進会議
- 10月1日 議会運営委員会
- 6日 広報特別委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 15日 広報特別委員会

- 10月21日 広報特別委員会  
24日 広聴特別委員会  
28日 令和7年度花巻市高校生議会

## 議会傍聴にぜひお越しを！！

## 【9月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 33人

## 【12月定例会】

12月5日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598 (直通)

## 議会中継をスマホ・

## PCで視聴できます！！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

【広報特別委員会】									
委員									
副委員長									
委員									
阿部	櫻井	佐々木	伊藤	及川	鹿討	小森	小原	羽山	
一男	肇	精市	忠宏	恒雄	康弘	田郁也	保信	るみ子	